

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
1303211	臨床栄養教育論 Clinical Education of Nutrition	岡本 康子	専門	2	必修	2年 後期

科目の概要

ライフステージ別の栄養との関連を理解する。特に思春期、学童期・成人期、妊娠期・授乳期、高齢期について学ぶ。さらに医療人としての心構えを学び、臨床の場(病院等)での病態・栄養状態について臨床検査データの意味を理解し、疾患別の栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランを作成する技術及び能力の習得、適切な食事療法が実行できるように指導する栄養教育の方法を身につけることを目的とする。具体的に計画に基づいた栄養管理・栄養指導を展開する方法を学ぶ。

学修内容	到達目標
① ライフステージ別に栄養との関係がわかる ② 医療人としての心構え ③ 病態別の食事療法の違いがわかる ④ 計画力、協調性、実践力を高める ⑤ 患者個々に応じた(オーダーメイドの)対応ができる能力を養う	① ライフステージ別の栄養の違いを理解する。 ② 医療人として守秘義務や個人情報保護法を知る ③ 疾病に応じた食事療法が実践できるようになる ④ 栄養管理目標量と教育目標の計画ができる ⑤ 個人の検査データなどに基づき、適切な個人栄養指導が行える

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	シラバスを活用し、自ら予習して授業に望む姿勢
	働きかけ力	周りの人の能力を尊重し、協力をよびかけ、いっしょに行う姿勢
	実行力	自分で目標を決め、粘り強くやり遂げるといふ強い意欲をもって取り組む
考え抜く力	課題発見力	常に自己点検して現状を分析し、自分のわからない課題を見つけ、解決策を考える
	計画力	作業のプロセスを明らかにし、優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てるとともに柔軟に計画を修正できる。
	創造力	従来の常識や発想を転換し、新しい解決策を生み出すことができる。
チームで働く力	発信力	相手がどんな情報を求めているかを理解し、具体的にわかりやすく伝えることができる。
	傾聴力	相槌や共感等により、相手に話しやすい環境を作るとともに、素直に聞くことができる。
	柔軟性	自分の意見を持ちながら、相手の意見をよく理解し、共感することができる。
	状況把握力	自分の期待されている役割を認識し、行動することができる。
	規律性	ルールを把握し、そのルールや約束をまもることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスの原因を知り、解決・発散する方法を身につけることができる。

テキスト及び参考文献

エッセンシャル栄養教育論第3版 医歯薬出版株式会社
 なぜ? どうして? 人体の構造と機能/臨床栄養学①② メディックメディア
 参考図書 病気がみえる 消化器疾患第5版

他科目との関連、資格との関連

臨床医学 応用栄養学 栄養教育論 臨床栄養学 生化学 解剖学 栄養カウンセリング論等

学修上の助言	受講生とのルール
一般的な疾病の病名や症状、主な検査データに関する知識を、基本的な栄養アセスメント(ライフステージ別にもできる)とあわせて、理解しましょう。同じ疾患でも患者個々の行動変容ステージや環境、性格等によりオーダーメイドの教育教育が必要になります。	基礎に栄養素の代謝・吸収、医学知識、検査データの見方などの知識、疾患別の食材・食品の適正な選択ができて、はじめて食事療法を教育・支援することができる学問です。常に課題を見つけ、栄養学や生化学の教科書、食品成分表を参考にし、また毎回の授業に参考資料として用意をしましょう。どんな疾患においても他の教科との関連をしり、教育、支援ができるように学びます。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	毎回の授業の中で、理解すべきポイントがみについたかどうか それぞれの病態のメカニズムを理解し、栄養素との関連、指導ポイントが理解できたかを最終的に評価します
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト		①	✓	本時の授業の終わりに確認テストを行う 自分の理解できなかったところを発見する
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
レポート	30	①	✓	予習、復習をすることを主体的に取り組み、課題発見力、創造力、計画力、仕上げる力、期日までに提出できる能力＝規律性を養う レポート1回目 1-4週 5週目授業終了後 レポート2回目 5-7週 8週目授業終了後 レポート3回目 8-12週 13週目 授業終了後提出 レポートには仕上げた日（計画力）、挙手した回数を記入する（発信力）
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品	10	①	✓	栄養指導媒体になる(資料)作品を仕上げることを評価する アイデアが生かされた作品を仕上げていくことを評価する＝創造力
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) シラバスを活用し、自ら予習して授業に望む姿勢 (実行力) 自分で目標を決め、粘り強くやり遂げるといふ強い意欲をもって取り組む (課題発見力) 常に自己点検して現状を分析し、自分のわからない課題をみつけ解決策を考える (創造力) 従来の常識や発想を転換し、新しい解決策を生み出すことができる。 (発信力) 相手がどんな情報を求めているかを理解し、具体的にわかりやすく伝えることができる (傾聴力) 相槌や共感等により、相手に話しやすい環境を作るとともに、素直に聞くことができる。 (規律性) ルールを把握し、そのルールや約束をまもることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
医療人としてルールを知り、病態のメカニズムを理解し、適切な判断、計画、指導ができる。 栄養管理目標量と、教育目標の計画が適正に立案できる 筆記試験・レポート評価が80%以上である。	医療人としてのルールを知り、病態のメカニズムを理解し、適切な判断、計画、指導ができる。栄養管理目標量と、教育目標の計画が立案できる 筆記試験・レポート評価が70%以上である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 15 回の流れ 医療人としての心構え 守秘義務と個人情報保護法 臨床栄養教育とは 栄養教育の種類と特徴 栄養管理に必要な帳票類 診療報酬制度	講義	医療人としての心構え、守秘義務の重要性を知る 管理栄養士にかかわる診療報酬とはなにかを知る	(予習)病院とはどんなところか？ どんなスタッフがいるのか？ (復習)守秘義務、個人情報保護法とはなにかを理解する	180	実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2週 /	診療記録の見方・書き方 食事調査の実践 食事調査の種類を学び、短い時間でできる調査を理解する 栄養学・食品学の教科書 電卓 成分表を用いる	講義 ペアワーク	食事調査の種類を学び栄養指導時に必要な食事調査を理解し、実践できる。 食事記録例を概算で計算することができる	(予習)栄養指導するうえでどんな食事調査が必要か、また栄養量の計算がすぐできるようにしておく (復習)有効な調査内容を確認しておく	180	課題発見力 計画力 傾聴力 創造力
3週 /	集団指導と個人指導 集団・個人に対する指導の違いを理解し、個人指導及び集団指導に対する計画を立案する能力を養う ライフステージ 思春期	講義 グループワーク	個人指導、集団指導の計画立案ができる。グループワークがスムーズにできる	(予習)集団指導と個人指導の違い、役割について教科書から理解しておく (復習)計画立案を見直し	180	課題発見力 計画力 傾聴力
4週 /	学童期・成人期 (ライフステージ) 小児肥満、成人肥満 メタボリックシンドローム アセスメント項目・方法・食事療法の理解 栄養教育のポイント	講義 演習→グループワーク	肥満の種類、小児と成人の違いを知る 肥満のガイドラインを活用し、アセスメント項目・方法・食事療法の理解 栄養教育のポイントが理解できる	(予習)肥満、メタボリックシンドロームとはなにかを前もって調べておく (復習)小児、成人の肥満患者の栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
5週 /	高尿酸血症 脂質異常症 アセスメント項目・方法・食事療法の理解 栄養教育のポイント	講義	高尿酸血症・脂質代謝異常の病態の理解 栄養素・食事との関係性がわかる	(予習)高尿酸血症、脂質異常症、の病態を理解しておく (復習)栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
6週 /	ライフステージ 妊娠期・授乳期 高血圧 アセスメント項目・方法・食事療法の理解 栄養教育のポイント	講義 演習→グループワーク	妊娠期の合併症を理解 高血圧の病態の理解 栄養素・食事との関係性がわかる	(予習)高血圧、の病態を理解しておく (復習)高血圧の栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
7週 /	ライフステージ 高齢者 糖尿病 アセスメント項目・食事療法の理解 栄養教育のポイント	講義 演習→グループワーク	病態の種類 病態別の治療の違い、食事療法の違いがわかる	(予習)糖尿病の病態を理解しておき、食事との関連性を読んでおく (復習)栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
8週 /	心疾患 アセスメント項目・方法・食事療法の理解 栄養教育のポイント	講義 演習→グループワーク	心疾患の種類を知り、教育のポイントを症例で取り組む病態の理解 栄養素・食事との関係性 栄養教育のポイントを理解できる	(予習)心疾患の病態を理解しておき、食事との関連性を読んでおく (復習)栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	CKD アセスメント項目・方法・食事療法の理解 栄養教育のポイント	講義 演習→グループワーク	CKD の病期、ガイドラインを活用できる 病態の理解 栄養素・食事との関係性 栄養管理目標量と、教育目標の計画が立案できる	(予習)腎臓病の病態を理解しておき、食事との関連性を読んでおく (復習)栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
10週 /	糖尿病性腎症 CKD 透析期 アセスメント項目・方法・食事療法の理解 栄養教育のポイント	講義 演習→グループワーク	ガイドラインを活用できる 病態の理解 栄養素・食事との関係性 栄養管理目標量と、教育目標の計画が立案できる	(予習)糖尿病腎症の病態を理解しておき、食事との関連性を読んでおく (復習)栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
11週 /	消化器疾患 ① 食道・胃・腸疾患 食道静脈瘤胃・十二指腸潰瘍 炎症性腸疾患 クロウン 潰瘍性大腸炎 アセスメント項目・食事療法の理解 栄養教育のポイントを学ぶ	講義 演習→グループワーク	ガイドラインを活用できる 病態の理解 栄養素・食事との関係性 栄養管理目標量と、教育目標の計画が立案できる	(予習)食道・胃・腸の働きと役割を勉強しておく (復習)胃腸疾患の栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
12週 /	消化器疾患術後 鉄欠乏性貧血 合併症アセスメント項目・方法・食事療法の理解 栄養教育のポイント	講義 演習→グループワーク	ガイドラインを活用できる 病態の理解 栄養素・食事との関係性 栄養管理目標量と、教育目標の計画が立案できる	(予習)病態を理解しておき、食事との関連性を読んでおく (復習)栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
13週 /	胆・膵臓疾患 胆石 症・胆道炎 急性膵炎 慢性膵炎等	講義 演習→グループワーク	ガイドラインを活用できる 病態の理解 栄養素・食事との関係性 栄養管理目標量と、教育目標の計画が立案できる	(予習)病態を理解しておき、食事との関連性を読んでおく (復習)栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
14週 /	② 肝疾患 急性 肝炎・慢性肝炎 肝硬変 肝がん等 アセスメント項目・方法・食事療法の理解 栄養教育	講義 演習→グループワーク	ガイドラインを活用できる 病態の理解 栄養素・食事との関係性 栄養管理目標量と、教育目標の計画が立案できる	(予習)病態を理解しておき、食事との関連性を読んでおく (復習)栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力
15週 /	まとめ 補足する	講義	ガイドラインを活用できる 病態の理解 栄養素・食事との関係性 栄養管理目標量と、教育目標の計画が立案できる 媒体が作成できる	(予習)課題(栄養指導媒体物の作成) (復習)栄養教育のポイントをまとめる	180	課題発見力 計画力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力